

国際シニア合唱祭

ゴールデンウェーブin横浜

3

彩の国プラチナ混声合唱団

2024年3月5日

3月4日(月)、彩の国プラチナ混声合唱団の3回目の練習が東大宮コミュニティセンターホールで行われました。今回取り組んでいる曲は、林望作詩／上田真樹作曲＜混声合唱とピアノのための組曲『鎮魂の賦』＞より、終曲の「春の日」です。この曲は「死を悼むレクイエムではなく、温かい気持ちで死者の魂と心を通わせられるようなレクイエム」として無宗教のレクイエムという位置づけです。121小節あります。

5. 春の日

林 望 詩
上田真樹 曲

The image shows a musical score for the piece "Spring Day" (5. 春の日) from the "Requiem for Mixed Choir and Piano" (鎮魂の賦) by Makoto Ueda. The score is presented in a multi-staff format. On the left, there is a book cover for the score, featuring the title and the composer's name, Makoto Ueda. The main score consists of a piano accompaniment part and four vocal parts: Soprano (S), Alto (A), Tenor (T), and Bass (B). The piano part begins with a tempo marking of *a piacere* and dynamic markings of *mf*, *pp*, *mf*, and *pp*. The vocal parts enter at measure 5 with a tempo marking of *mp* and dynamic markings of *pp* and *mp*. The score is marked *Andante* and *p* (piano) from measure 10 onwards. The lyrics for the vocal parts are: ゆきが - とける みずが - ながれる (The snow melts, the water flows).

ピアノが a piacere(喜び)で静かに印象的に早春の幸福な雰囲気を感じながら曲がはじまります。

雪が融ける
水が流れる
山々は霞み
雲は棚引く
鳥は萌木に
花はつぼむ
...

春の訪れを感じさせる静謐さ、とても優しい気持ちになります。

練習はまだ3回目ということもあり、音取りにやや不安がありますが、まずは通して歌うことができるまでになりました。

ある実行委員は、「ただ歌うことから、曲を作り上げる方向にみんなが集中し始めましたね。」「ソリも入ったこと、また指揮者の説明から全容が見えてきて自分たちで考え始めたところでしょうか」「神様の言葉を伝えてるような気になる、マーラーのような曲、もっと動かして表情をつけたいです。いずれにせよ、これからです」と残り4回の練習に掛ける意気込みを語っていました。



[Back](#)

[Home](#)

[彩の国ブラチナ混声合唱団TOPへ](#)

[HOME PAGEへ](#)